

技術のおたずねにこたえて

【おたずね】半製材品として輸入されているキャンツ、大中角、ウェニーなどは、製材原木の一種とみなされているようですが、その区分についてお知らせください。

(S市, K生)

【おこたえ】一般的なものを列記いたします。

1. 大中角(だいちゅうかく) 北米から輸入される大角(おおがく)と中軒(ちゅうがく)の総称。前者は1辺18~24インチの正角で長さ20~40フィートのもの。後者は1辺12, 14, 16インチの正角で長さ16~40フィートのもの。いずれも心持ち材。

2. ウェニー 北米から輸入される半製品のうち、ひき面が2ないし3にとどまる丸身つきの材。す

なわち、たいこ材、耳つき材などの総称。

3. キャンツ ウェニーの一種。厳密な定義はないが、丸太の1方以上を背板落とした素材で、再製材ではその広いひき面に対し直角にひき割られるのが普通である。相対する2方にひき面を有するものの厚さとしては $8\frac{1}{2}$, $4\frac{1}{4}$ インチ、長さとしては10, 12, 13, 16, 20, 26フィートが主。

4. フリッチ 2以上のひき面を有する丸太の一部、通常相対する2方がひき面で、残りの2方に耳がついている。キャンツと異なり、再製材ではその広いひき面に平行にひき割られるのが普通である。また、ソードベニヤあるいはつき板用の材料ともなる。

5. レギュラー, スモール 南洋材の丸太では、径60cm以上を前者、未満を後者とする。

(林産試験場 経営科)